

1 活動名 「小学校第6学年児童と交流する入学説明会」

内容 (1) 生徒会の計画や運営  
(2) 異年齢集団による交流

2 活動の主体 第1学年生徒会

3 ねらい

- 入学説明会に向けての活動を通して、自治的な活動を実践的に学び、自発的、自治的な活動を進めるようにする。
- 小学校第6学年児童との交流を通して、相手に対する様々な心遣いや配慮を意識し、上級生としての自覚と責任がもてるようにする。

4 指導について

本活動は、第1学年生徒会が、入学説明会に向けての活動を通して、自治的な活動を実践的に学び、自発的、自治的な活動を進めることができるようにすることをねらいとしている。また、第1学年生徒が、小学校第6学年児童と交流し、小学生に対する様々な心遣いや配慮を意識し、上級生としての自覚と責任をもてるようにすることもねらいとしている。

第1学年の生徒は、チャイム着席を守ったり、無言清掃に取り組んだり、落ち着いた態度で生活している。5つの小学校から編成された学級の間関係も形成されつつあり、体育祭では、どの学級も協力して競技に取り組む姿が見られた。また、1学期には、生徒総会に向けて学級ごとに生活向上案について話し合い、生徒会全体や学年、学級で決定したことを実践するといった活動にも取り組んできた。

生徒会活動に関する意識調査 第1学年生徒130人（平成23年7月19日調べ）

質問内容		4	3	2	1
1	話し合い活動で自分の意見を進んで言うようにしている	10人	47人	65人	8人
2	話し合い活動で決めたことを守って生活している	33人	84人	12人	1人
3	生徒会の活動を通して、自分のよさに気付いたり、役立っていると感じたりしている	はい・・・・・・・・・・55人			

（4：よく当てはまる 3：当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：当てはまらない）

意識調査の結果を見ると、話し合い活動で決めたことを守っている生徒は多いが、進んで意見を言うようにしている生徒は少ないことが分かる。また、話し合い活動で決めたことを守り、役割を遂行している生徒が多いにもかかわらず、自分のよさに気付いたり、役に立っていると感じたりしている生徒が少ないことが分かった。

そこで、本活動では、話し合い活動をより充実させ、決定したことの実現に向けて生徒が主体的に活動し、自らのよさに気付くような活動を展開できるようにしたいと考えた。具体的には、話し合い活動カードを活用し、話し合い活動の仕方を生徒が共通理解できるようにする。また、話し合い活動の演習を計画に位置付けるようにし、生徒が多様な意見を出し、その上で集団としての意見をまとめていけるようにする。さらに、評価指標を生徒に提示し、具体的な評価の視点をもって自己評価や相互評価を行い、生徒が自分のよさに気付けるようにする。このような活動を通して、生徒が、自治的な活動を実践的に学び、自発的、自治的な活動を進めることができるようにしたい。そして、相手に対する様々な心遣いや配慮を意識し、上級生としての自覚と責任がもてるようにしたい。

5 本活動における目指す生徒の姿

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自分のよさに気づき、自信をもち、活動への意欲を高め、協力して活動しようとしている。	生徒会の一員として全体のことを考え、判断し、共通の目標を目指して活動している。	活動の目標、参画の仕方、話し合い活動の仕方を理解している。

6 指導の過程

(1) 指導、評価、活動の計画 (活動プログラム)

指導計画		評価計画	活動計画 (予想される活動を含む)	
活動	場	ねらい・指導上の主な留意事項	目指す生徒の姿【評価の観点】	
I 話し合い活動	◇	生徒の思いを尊重し、受容する姿勢で臨むようにし、生徒が思いや願いを共有し、活動意欲を高められるようにする。話し合い活動の研修の実施について働き掛け、活動計画に研修が位置付けられるようにする。 (準備物：活動計画の記入用紙)	活動への意欲をもち、協力してよりよい活動にしようとしている。 【関心・意欲・態度】 観察	第1学年生徒会の活動 ・活動に向かう思いや願いの共有 ・組織作り ・活動目標の設定 ・活動内容案の作成 ・活動計画の作成 [3回]
	◇	話し合い活動カードと司会者スキルカードを活用して話し合い活動の研修を行い、話し合い活動の仕方や司会のスキルを理解できるようにする。 《話し合い活動カードの活用》	話し合い活動の意義や方法、手順、折り合いのつけ方を理解している。 【知識・理解】 ワークシート	・話し合い活動の研修 (話し合い活動の仕方、話し合い活動のモデリング、司会者トレーニングを兼ねた話し合い活動のロールプレイング) ・①の打合せ (進め方の協議、役割分担、演習の議題・グループの設定) [4回]
	学級活動	実行委員が中心になって進め、必要に応じて補足説明や助言を行うようにすることで、話し合い活動の仕方が理解できるようにする。 《話し合い活動の演習を実施》		①オリエンテーション、話し合い活動の研修 (学級) ・オリエンテーション (活動の概要説明と目標の共有) ・話し合い活動の仕方の説明 ・話し合い活動の演習 (5人程度の分散会形式で実施)
	◇	司会者振り返りカードを活用して活動を振り返り、話し合い活動の仕方への理解を深めるようにする。 ②の打合せを行う。		・①の反省 (演習の内容、司会の仕方、全体について) ・②の打合せ (進め方の協議、役割分担)
	学級活動	※ 実行委員が中心になって進め、生徒のよさを認めたり、必要に応じて助言したりすることで、生徒が自発的、自主的に活動できるようにする。	6年生の思いを大切にしながら考え、他の生徒と折り合いをつけて話し合っている。 【思考・判断・実践】 観察	②話し合い活動 (学級) ・本番で行う活動内容の検討
	◇	各学級の意見を集約して活動の方向性をつかめるようにし、見通しをもって③話し合い活動に臨めるようにする。		・②の反省 ・各学級の意見集約 (活動の方向性をつかむ) ・③の打合せ (進め方の協議、役割分担、資料準備) [3回]
	生徒会活動	※に同じ		③話し合い活動 (学年) ・本番で行う活動内容の決定
II 役割分担・立案	◇	活動の目標を確認し、それを踏まえてグループ編成の仕方と役割分担の仕方を考えさせるようにする。 (準備物：活動計画表、活動内容を記載したワークシート)	全体のことを考え、自分に合った役割を判断し、共通の目標を目指して活動計画を立てている。 【思考・判断・実践】 観察	・③の反省 ・活動計画の修正 (本番の進め方を含む) ・④の打合せ (進め方・グループ編成の仕方・役割分担の仕方の協議、活動 (詳細) の立案の仕方) [3回]
	学級活動	※に同じ 役割分担については、一人一人が納得して決められるように助言する。		④役割分担と立案 (グループ) ・出身小学校ごとに5人程度ずつのグループを編成 ・グループ内での役割分担、 ・役割ごとに集まり活動 (詳細) の立案
	◇	活動計画を確認 (必要に応じて修正) し、実行委員が自信をもって⑤～⑦の活動に臨めるようにする。		・④の反省 ・活動計画の確認と修正 ・⑤～⑦の打合せ (進め方の協議、準備物の確認) [2回]
III 主体的な活動 (計画の実行)	学級活動	※に同じ 生徒の活動に応じて、必要な資料を準備する。		⑤～⑦本番に向けての準備 (グループ) ・生活、学習、部活動の発表準備 ・小グループ座談会の準備 ・緊張をほぐすゲームの準備 ・招待状の作成
	◇	リハーサルの進め方、活動の時間配分と留意点などについての共通理解を図っておき、リハーサルを通して課題が明確にできるようにする。		・活動報告 (成果と課題) ・リハーサルの打合せ (進め方・時間配分の協議、留意点の整理)
	学級活動	※に同じ		⑧本番に向けての準備 (リハーサル) (グループ) (役割分担ごとのグループで実行)
	◇	本番の進め方、時間配分、役割分担、準備物について、十分に確認し、実行委員が自信をもって活動に臨めるようにする。		・リハーサルの反省 (成果と課題) ・本番の最終確認 (日程、全体にかかわる役割分担、準備物)
	生徒会活動	(本時) ※に同じ		⑨本番 (学年)
IV 振り返り	◇	生徒のよさを認め、具体的にフィードバックし、活動への意欲を高められるようにする。	次の活動への意欲をもち、協力してよりよい活動にしようとしている。 【関心・意欲・態度】 ワークシート	・本番の反省 (自分のよさや他の生徒のよさに目を向ける)
	学級活動	構成的グループエンカウンター「ありがとうの花束」の進め方を応用して生徒相互がよさを認め合うようにし、生徒が自分のよさに気づき、自信をもち、次の活動への意欲を高められるようにする。		⑩活動全体の振り返り (学年) ・他者からのフィードバック (第6学年児童からの手紙を読む) ・教師によるフィードバック ・生徒相互によるよさの認め合い
	◇	生徒のよさを認め、具体的にフィードバックし、次の活動への意欲を高められるようにする。		・活動全体の反省 (成果と課題)

ループブリックを用いた生徒による自己評価・相互評価(ワークシート)、ループブリックを用いた教師による評価(補助簿)(□は教師による見取りの方法)

◇：朝・昼休み・放課後に設定する実行委員会  
〈 〉：活動の形態

学級活動：学年の生徒会活動として実施  
[ ]：予定する実行委員会が2回以上であるときの回数

生徒会活動：学校裁量の時間に実施

(2) 本時の指導と生徒の活動（予想される活動を含む）

- ① 本時の活動 「入学説明会で6年生と交流しよう（仮題）」
- ② 生徒の活動計画（略）
- ③ 本時における目指す生徒の姿  
自分の役割を通して全体のことを考え、必要なことを判断し、「6年生の不安を楽しみに変える」という目標を目指して活動している。
- ④ 人権教育の視点との関連  
小学校第6学年児童との交流を通して、本校人権教育の視点2「人の気持ちや立場を大切に、共に考え、協力する」に迫る。
- ⑤ 準備・資料  
ア：ワークシート，イ：学校生活の説明用パワーポイント，ウ：学習カード
- ⑥ 展開 ◎は人権教育の視点

役割 分担	全体司会（ ） 最初の言葉（ ） 実行委員長あいさつ（ ） 日程説明（ ） 終わりの言葉（ ） 小学校ごとの代表者（ ）			
	活動の内容	資料	指導上の留意点	評価
開始		ア	○ 事前にワークシートを配り、活動の目標について実行委員が話せるようにしておく。	指して自分の役割を通して全体のことを考え、必要なことを判断し、共通の目標を目指す。 (観察)
	入学説明会で6年生と交流しよう（仮題）			
	1 開会式を行う。 (1) 最初の言葉 (2) 校長あいさつ (3) 実行委員長あいさつ (4) 日程説明 (5) 終わりの言葉		○ 実行委員が役割を担うようにし、必要に応じて助言する。  ○ 実行委員長が「後輩を大事にしたい」という思いを伝えられるよう事前に助言しておき、小学校第6学年児童が安心して入学説明会に臨めるようにする。	
展開	2 学校紹介を行う。 (1) 生活・学習について (2) 部活動について  3 小学校ごとに座談会を行う。 (1) 緊張をほぐすゲーム (2) 「私が好きな南中」について紹介する (3) 質疑応答	イ	○ 生徒の発表に必要な資料や機器を用意し、円滑に活動が進むようにする。 ○ 全体を見ながら、必要に応じて助言する。 ◎ 小学校第6学年児童の気持ちを考えながら活動できるように、必要に応じて助言する。	
まとめ	4 小学校ごとに閉会式を行う。 (1) 最初の言葉 (2) 実行委員の話 (3) 終わりの言葉  5 本時を振り返る。		○ 「4月から一緒に楽しい学校をつくっていこう」というメッセージを伝えられるように、事前にメッセージの内容を確認し、必要に応じて助言しておく。  ウ ○ 活動を振り返り、自分や他の生徒のよさに気付けるようにする。	